

WAW [ジグザグショップ・アクションプラン]

南笠東学区住民福祉計画

南笠東学区社会福祉協議会



2009

目 次

(序 説)	
はじめに	1
ジグザグショップって？	1
§ 1. 南笠東学区の概況	
位置と地域の特性	2
社会福祉協議会の構成	
§ 2 学区社協の事業展開	
活動の基本スタンス	3~4
(行動目標)・(活動のフレーム)・(2つのコンセプト)	
行動の指針	4
学区社協の組織・機構	5
学区事業の状況	6
§ 3. 平成 21 年度の新たな展開	
あいさつの浸透	7
関心を高めるムーブメント	7

はじめに

南笠東社会福祉協議会がスタートして 10 年目を迎えました。

本計画書は、これまでの活動をふりかえり、『守っていくべきこと・拡げていきたいこと』をテーマとして、地域福祉を考えるプロジェクト委員会「ジグザグショップ」が取りまとめたものです。

本計画の基本は、地域の諸団体や福祉に協力してくださる地域住民が、「いきいき・のびのびと自己の目標や目的を実践し自己の成長につながる場」として社会福祉協議会のしくみを考え、南笠東学区のまちづくりに活かされる住民福祉活動の構築をめざそうというものです。

時代の潮流は、地域協働型社会に向かっています。これは、学区のまちづくりにおいては、『理想のまち』から『みんなで創るまち』へのギア・チェンジを意味します。

草津市のなかでも著しく人口が急増し、生活環境が変化をしてきた南笠東学区にあって、本計画書は、ここに集う人々がこのまちを知り人々の共感や感動を得ることによって、「絆」や「愛」を育み、「知恵と創造」によって『南笠東らしさ』を演出しようとする学区まちづくりの展開に南笠東学区社会福祉協議会の活動が活かされる姿を想定したものです。

ジグザグショップって？

平成 20 年 11 月から平成 21 年 3 月までの間、本計画書を策定したプロジェクト委員会の名称です。語源は、福祉(Welfer)とワークショップ(Workshop)のイニシャル W・Wを並べたイメージから創ったもので、草津市と南笠東の社会福祉協議会のメンバーを構成員として進めました。

計画の過程では、「南笠東学区V(ボランティア)交流会」にて学区まちづくり委員の皆様との話し合いやプロジェクト委員の協議により多角的かつジグザグな視点でご意見をいただきました。

関係して下さった方々に御礼を申し上げます。

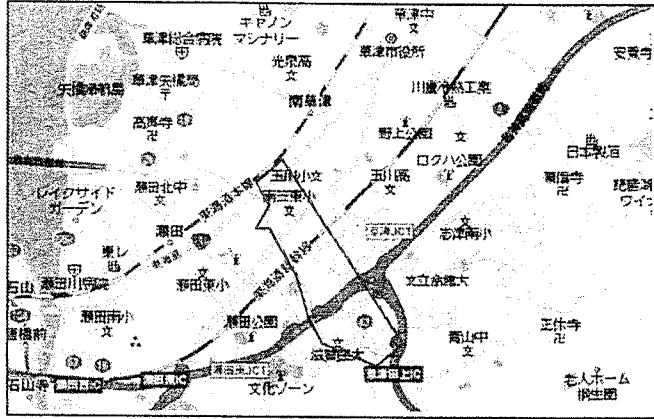
§ 1. 南笠東学区の概況

位置と地域の特性

南笠東学区は、草津市の南端に位置し、面積 2km² 余り(推定:市の統計で大字南笠3.64km² から推計)で、JRびわこ線から山手にかけて細長く伸びています。

草津市は交通の要衝といわれていますが、この地域は、古くは東海道の街道筋として、また、近年では、新幹線、JR びわこ線、国道一号線、京滋バイパスや名神高速道路がとおり、平成20年に開業した草津田上インターは、新名神高速道路の起点となり草津市南の玄関口と呼ばれるようになってきました。

山手一帯には、福祉ゾーンと文化ゾーンがあり琵琶湖を眺める丘陵台地を快適な居住地として人口が急増したことも大きな特色です。



人口は7,991名、世帯数3,581(平成20年6月:草津市統計)です。隣接する玉川学区は、学区が分離するまで、玉川地区として行動しており、現在も同じ中学校区にあります。玉川学区内にある立命館大学びわこくさつキャンパスは、当学区との関係が深く、学区内には、アメリカンフットボールとラグビー部のグラウンドやスポーツジムがあります。また、数多くの学生マンションがあり、学生世帯の全世帯数に占める割合は、町内会の登録状況は草津市に住民登録をしていない世帯を含めるとおよそ50%となり人口の割合も20%を超えています。

地域の歴史とすれば、大字南笠として古くから伝承されてきた行事や文化遺産、江戸時代から東海道の街道文化として語り伝えられてきた逸話、滋賀県の果樹園経営の安定に貢献した大正から昭和初期の先人の働きなどがありますが、近年は、昭和の末期から今日までに急速に広がった住宅地域が「まちづくり」に取り組む姿に注目されています。

社会福祉協議会の構成

学区内には6つの町内会(新南笠、東南笠、狼川、笠山、南笠ニュータウン、滋賀医科大学南笠)と1行政区(滋賀医科大学行政区)があり、山手には福祉ゾーン(身体障害者の施設や彼らが働く工場等)があります。社会福祉協議会は、6つの町内会に居住する地域諸団体の代表・行政委嘱者と各町内会から選出する福祉委員で構成され、ここに公的機関(市民センター・幼小中学校)と公的施設(福祉施設・保育園等)が加わっています。

社会福祉協議会をとりまく情勢として、市民団体に関係する人や市民センターを拠点に趣味や特技によって集う人々、公民館活動により学ぶ人々があり、彼らに加えて学生の活動が地域のイベントを支える大きな役割をはたしています。

社会福祉協議会の事業の中には、自治連合会がすすめる「まちづくり推進委員会」で地域のイベントを展開する柱に位置づけられ地域の諸団体が協働して実施しているものがあります。

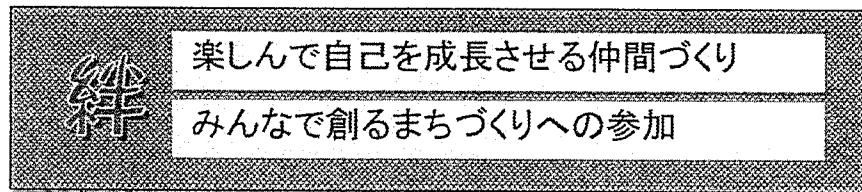
§ 2 学区社協の事業展開

活動の基本スタンス

(行動目標)……支えあう絆を深める

草津市は、昭和50年頃から急速に住宅化がすすみました。当地域においては、住宅開発のブロックで単位町内会が形成されており、町内会のなかにおいてもミニ開発によってできたグループの集合体として、とらえることができます。このようなまちの形成過程をみますと、新たな居住地として住まいされた人々は、集中浄化槽がコミュニケーションプラントと呼ばれるように生活をしていくための共益費の協議などを行う場(住民自治)があり、これによって同じ時代に移り住んだ仲間意識や人々の絆が育まれてきました。このような事例は数多くありますが、当地域は、単位町内会の規模が最少でも130世帯を超え、それぞれの町内会から学区のまちづくり委員を排出できる体力が備わっています。また、ミニ開発によって育まれた住民協議の場が委員選出の母体となっていることから、偏りのない情報整理や発信が行いやすい土壌ととらえて、まちづくりの基盤が築かれてきました。

しかし、この意識は「時として見失いやすい」ということや事業の展開により、立場により「これと異なった方向に映る」ことが、現実問題としてありうるということを想定して、学区のまちづくり推進委員会が掲げた活動の起点『素敵な出会い』に学区社会福祉協議会も同調し、行動の原点を次の目標に置きました。



(活動のフレーム)……広義にとらえる

私たちが目指すもの

社会福祉

(百科事典マイペディアより)

前文 略

戦後は、新しい憲法の理念に基づき、とくに社会福祉事業としては、社会保障制度の一環として、生活困窮者、障害者、児童、老人などの社会的に援護を要する者の自立と社会参加をうながす事業とされている。

以降 略

社会福祉を辞書で引くと、出版社により微妙にニュアンスが違っていることに気づきました。そこで、私たちが計画する福祉に対して共通の定義として、これを抜粋しました。3行目の社会的の前に、「うち」と入っている辞書もありますが、私たちは、広義にとらえて、出来ることを目指しましょう。

活動のフレームは、「上部団体の方針」あるいは「学区社協に期待されているものとその力量」によりエリアを定める方法がありますが、地域の役まわりとして引き受ける際に迷いなく行動できることを優先しました。

そして、他の団体の領域が重なる部分は協働して事業にあたるなど、活動のすそ野を広げることによって、学区社協を支えてくださる地域諸団体に受け入れやすいことを重点に置き、辞

書で示されている『社会福祉』の定義のなかから上図のものを選びました。

そして、毎年の力量を見据えて、ゆるやかに変化していくことが、変化する社会の潮流に副った居場所となることが、『みんなで創るまち』づくりに学区社協が活かされること。これに次の2つのコンセプトをつけ加え私たちが目指すものとなりました。

(2つのコンセプト)

組織体制のコンセプト

エンジン付きのトシイン

福祉を支える柱の自立

私たちの活動・・・活動と通して足腰を鍛える
人と人の関わりから自己を成長させる

尊重の精神

- 立場の尊重
- 自主性の尊重
- マネージメントの尊重

団体・グループのみな

広域的な地域の連携

事業企画のコンセプト

南笠東らしさの演出

守るべきこと 変えることを調整する

身の丈に合った課題で更新する
やめることはあきらめではない
再開は、先人の模倣ではない
団結(協力)のエネルギーを引き出す
決めたことはキッチリと・・・
何をするかより誰とするかを楽しむ

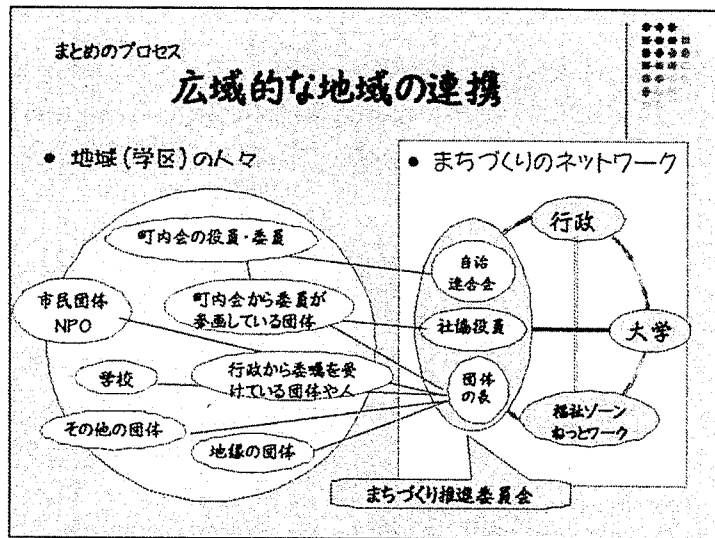
行動の指針

右図の肩書にあるように、行動の指針はまとめの段階で行い、今日までの学区社協を見つめ、ジグザグショップのテーマ『守っていくべきもの・拡げていきたいもの』としてとりまとめました。

右図の円は、すべての人が地域の顔を持ちそこから役員や団体の一員などの立場として集団を支える役割を担っているという実態を描いています。

そして、ここに集うものが「いきいき」と活動し、「支え合う」ことにより、まちが彩られ輝きが増してくることを示唆しています。

また、私たちの活動が1つの体制として結びつき、右図の機関や施設と人的に結びあっていくことによって、地域の人に恵をもたらすかけ橋となるとともに、その役割を演じて自己の成長を図っていく



ことを将来の姿として描きました。

これをもとに、活動のスタンスを行動の指針として改めて箇条書きにしたものが左図となります。

これをすすめる体制や事業に関し次ページ以後に記載する現況をもとに検討いたしました結果、今日まで先人が築いてきた内容を大きく変更する必要はないと結論づけました。

近年、地域協働型社会という表現で「行政」と「地域」の連携を見直す動きがあります。ここで重要な「自主」・「自立」・「自律」の体制づ

まとめのプロセス

社会福祉協議会の領域

活動の視点

- 草津市社会福祉協議会の指定する事業の実施
- 学区の特色に副った住民福祉活動の推進
- 広域的な地域の連携事業の企画運営
- 地域諸団体(社協参画団体)の事業の協賛
- 学区コミュニティ活動の推進
- 上記の関連または付帯する事業

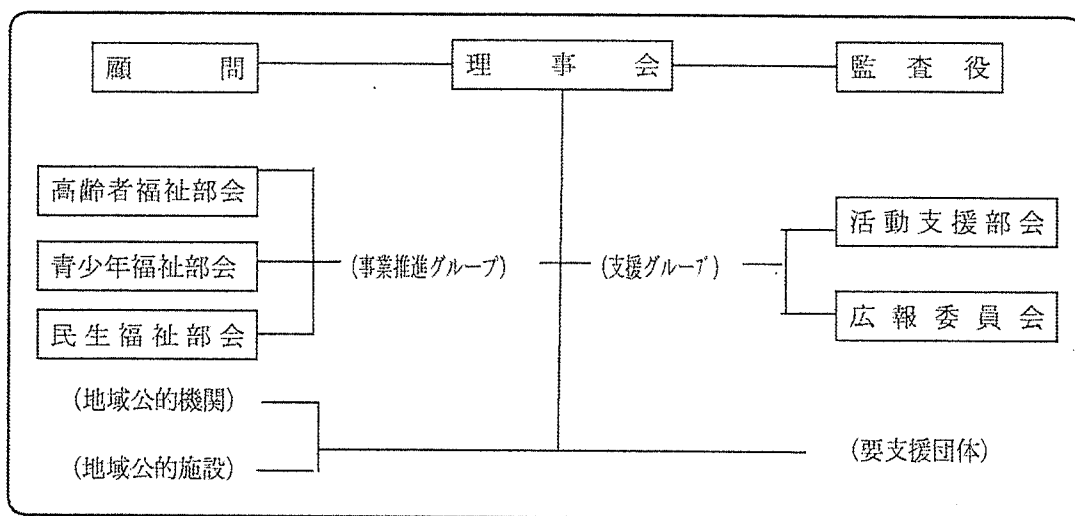
時流の変化に重心がブレないように、軸を調整

くりとして、情勢の変化に対し重心がブレないように軸を調整できるような組織をイメージしましたが、変更点までは煮詰めませんでした。

注.『自律』：周囲の状況から役割範囲を定め、主体的に判断して行動すること

組織の構成と職務の分掌

(第10条第2項 部会の構成員ならびに任務に関する内規)



(本部理事会)

- 1) 事業計画ならびに予算の策定
- 2) 共同募金・企業協賛金の徴収
- 3) 幼、小、中学の行事ならびに福祉施設の行事等の参加／調整
- 4) 災害援護・生活福祉資金等の対応
- 5) 他区域との共同事業の計画・調整(敬老会、戦没者追悼慰霊祭)
- 6) ボランティア団体の登録ならびに活動支援団体との調整
- 7) 広報ならびに啓発に関する事項
- 8) 上記の各項目に関連または付帯する事項

(事業推進グループ)

- 高齢者福祉部会 … 高齢者の方の交流や地域見守りを主体として事業の企画運営
- 青少年福祉部会 … 青少年の健全育成ならびに見守りに関する事業
シンナー薬物などの防止啓発、学校(福祉活動推進校)の事業対応
- 民生福祉部会 … 健康維持の予防、介護や福祉に関する教育・講座(福祉の土壌づくり)
障害者ならびに同施設への支援

(支援グループ)

- 活動支援部会 … 事業推進グループならびに実施事業の補佐もしくは支援
- 広報委員会 … 活動情報の収集と整理、広報の編集

平成20年度 推進グループのテーマ(抜粋:委員研修を除く)

	個別テーマ	事業目的	対象者	参加数 (見込)
本部 理事 会	学区敬老会	長寿のお祝い・学区Vの活性	70歳以上	180
	戦没者追悼式典	平和祈念・戦没者追悼	遺族	約60/ 3学区
	講演会・学習会等	住民学習⇒20年度は、ジグザグショップ キックオフ体制をテーマで実施	オープン	(60)
	総合的な学区活動実践計画の策定	モデル学区の対応・10周年を節目とした事業の点検見直し	委員	委員 15 拡大 40
	イベント展開	学区社協の周知活動 「地域で彩るコラボレーション」	オープン	410
高齢者 福祉部 会	ふれあいサロン	ボランティアさんと一緒にゲームと歌で 楽しく語り合う	65歳以上	60~70
	高齢者健康教室	健康増進と相互のふれあい	老人クラブ	約400
	地域サロン	とじこもりがちな老人の社会参加の機会 の創出	高齢者	
青少年 福祉部 会	子どもの体験学習	子ども会ジュニアサークル第2講 野外 活動体験	小学生 4-6年	児童 36 役員 12
	公民館宿泊体験	公民館・通学合宿	小学生 4-6年	30
	子どもフェスタ	いろいろな体験・生き生きと活動できる場 (遊びを通じた仲間づくり)	小学生 幼児	児童 123 役員 60
民生 福祉部 会	施設訪問	施設の慰問	高齢障害 者	25
	母子・父子家庭小・中学生祝金	入学時の援助	小中学 入学者	7
	乳幼児子育てサロン	未就学児の支援	未就学児 保 護者	60 x 12ヶ月

§ 3. 平成 21 年度の新たな展開

事業の展開については、その年度の執行組織が決定すべきことで、次年度の事業として提起したり申し送ることを慣習とすることは排除すべきであると考えます。新体制が決めたことにみんなが迷わず協力や実行を惜しまない姿勢が「人が育つしくみ」として望ましいというのが委員会での見方です。

21年度は、学区社会福祉協議会の 10 周年の節目として、変えようとするのがはっきりと見える形で次のステージを見据えることが必要なことから、ジグザグショップで準備を進めた内容を記載します。

あいさつの浸透

1) 内部実践

まずは、委員会で実践しました。

あいさつを交わしましょう

1. まずは起立しましょう
2. あたりを見回し、近くで、立ち上がった人とあいさつ(こんにちは)を言って握手をしてください
3. 次に、あたりを見回し、立っている人同士であいさつと握手を交わしましょう。

2) アピール行動



公募による推進マークの募集 (3月に実施)

21年度からの行動マーク

ジグザグから〇〇〇〇にキ・ヤチェンジ

残念ながら、未定です。応募中です。

たとえば、このようなものをイラストにするとか・・・

関心を高めるムーブメント

・地域イベント【コラボレーション】

毎年、異なる視点で、地域を見つめる事業企画です。21年度は社協 10 周年をテーマに想定した内容で、自治連合会との合意ができています。

次の 2 点は、まちづくりのネットワークとして打診をし、合意を得た内容です。

・福祉ゾーンとの交換

体力づくりを目的とするウォーキングの形で訪問。施設見学のほかスポーツ施設などを利用した交換会で、年度ごとにテーマを協議して実施

・立命館・学生との接点の拡大

「住民と学生の交流」をテーマに当学区(まちづくり推進委員会)と立命館大学が協働して取り組み、舞台を組み立てる(交流の下支えをする)

Step4 まとめ

関心を高めるムーブメント

- 『南笠東らしさ』を演出する
地域イベント【コラボレーション】の継続
21年度テーマ
仮称)学区V(ボランティア)達のコラボレーション
福祉ゾーン(むれやま・福祉ネットワーク)との交換
「むれやまハイキング」を始動
立命館大学・学生との接点の拡大
交流会の開催